

三股町 まち・ひと・しごと創生 総合戦略



概要版



2015.10 Mimata town



はじめに

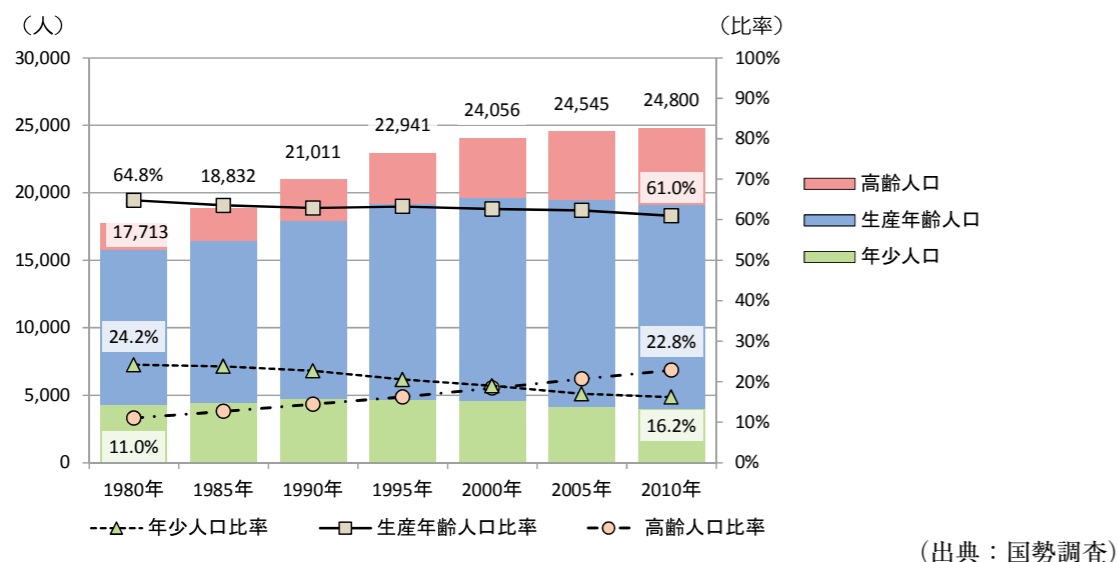
日本の人口は、平成 20 年（2008 年）をピークに減少に転じ、今後、加速度的に減少していくと推計されています。

本町においては、昭和 55 年（1980 年）以降 30 年間にわたって総人口は増加してきました。国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）による今後の推計では、平成 22 年（2010 年）の総人口をピークに国と同様、年少人口と生産年齢人口が減少し、高齢人口は増加していくことが予測されています。

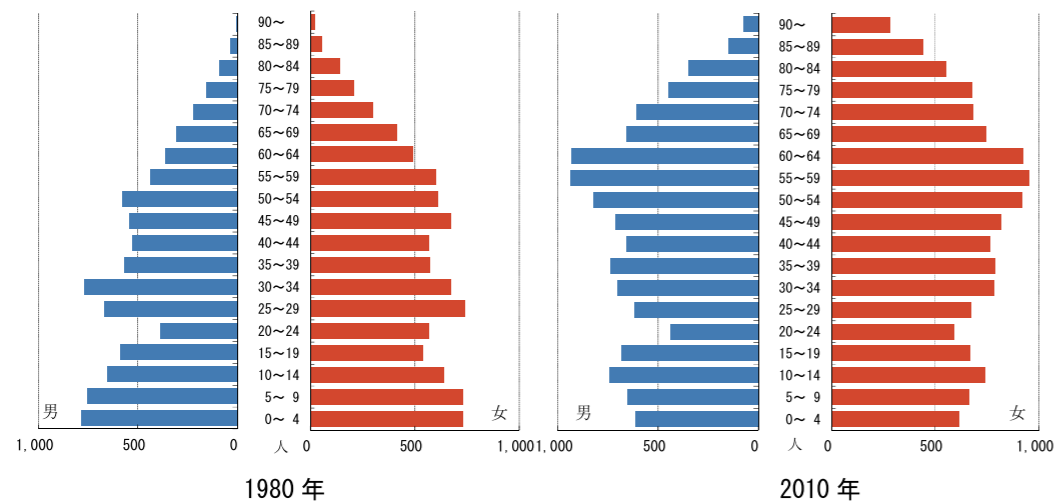
本町では、平成 27 年（2015 年）1 月に「三股町地方創生推進本部」を設置し、人口減少と地域経済縮小を克服し、将来にわたって持続的に発展していくため、人口の現状や将来推計、今後 5 か年の目標や施策事業の基本的な方向性などを「三股町まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定しました。

三股町の人口の現状

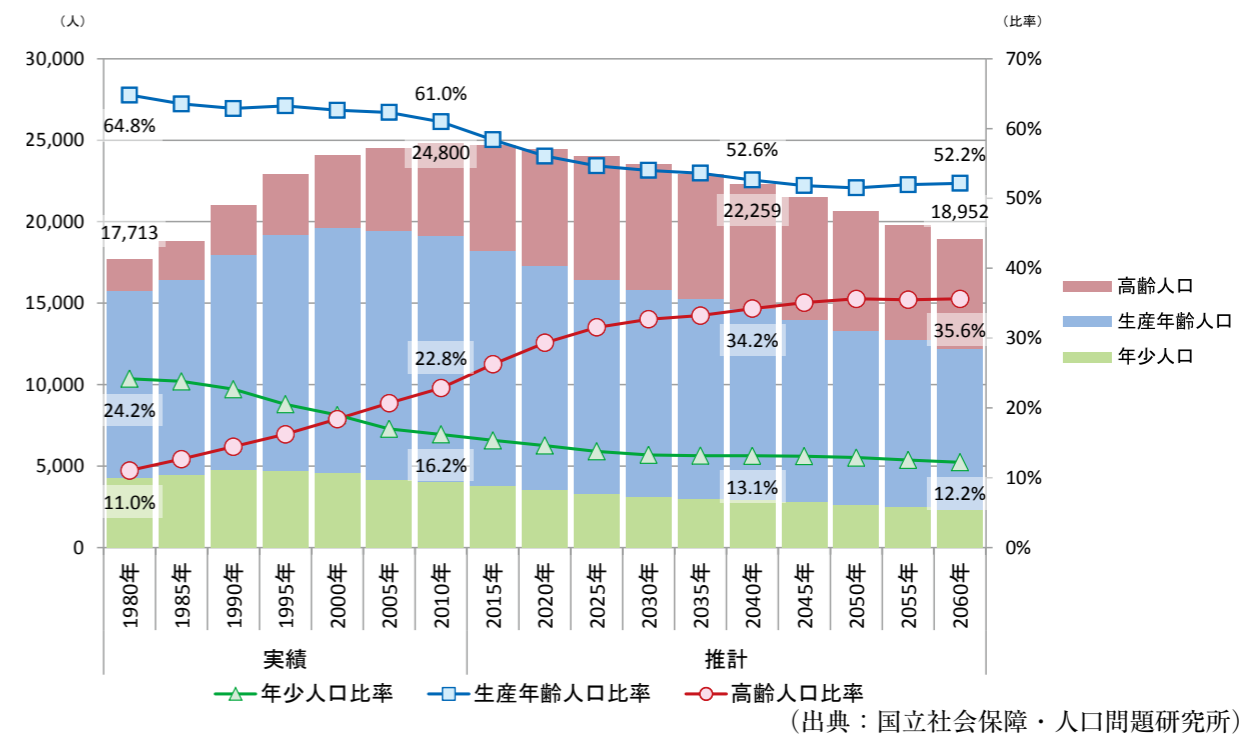
1. 3階層別人口の推移



2. 人口構成の変遷



3. 将来推計人口



「人口減少」が地域に与える影響

1. 産業・雇用

生産年齢人口の減少により労働力不足を招き、雇用量の低下、後継者不足などの問題が生じることが懸念されます。また、農林業については、担い手の不足により耕作放棄地の増加等が進み、地域によっては人口減少がさらに深刻化するおそれがあります。

2. 子育て・教育

年少人口の減少による児童・生徒の減少に伴い、地域の核である学校の存続が難しくなることが懸念されます。

3. 医療・福祉

高齢人口の増加により、医療や介護のさらなる需要増加が見込まれます。一方で、生産年齢人口は減少するため、社会保障制度を維持できる制度へ再構築する必要性が高まると推察されます。

4. 地域生活

中山間地域を中心とした過疎の進展のほか、集中的に開発された都市周辺住宅地の住民の高齢化等により、集落や自治会など、地域コミュニティの共助機能が低下することが懸念されます。

5. 長期的財政

人口減少により、長期的には税収など歳入の減少が見込まれる一方、高齢化はさらに進むことから、社会保障関係経費等が増加し、さらに財政の硬直化が進行するおそれがあります。

地方創生の目的

直面する問題

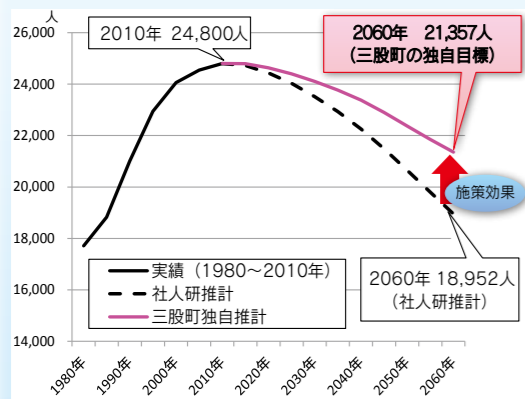
人口の減少 地域力の低下

働く環境を整備し、人口減少に歯止めをかけ、子育て・教育を支援するとともに、安全・安心な暮らしやすいまちづくり、地域と地域、人と人をつなぐまちを実現していくために、まち・ひと・しごと創生に関する施策を推進します。

人口状況分析

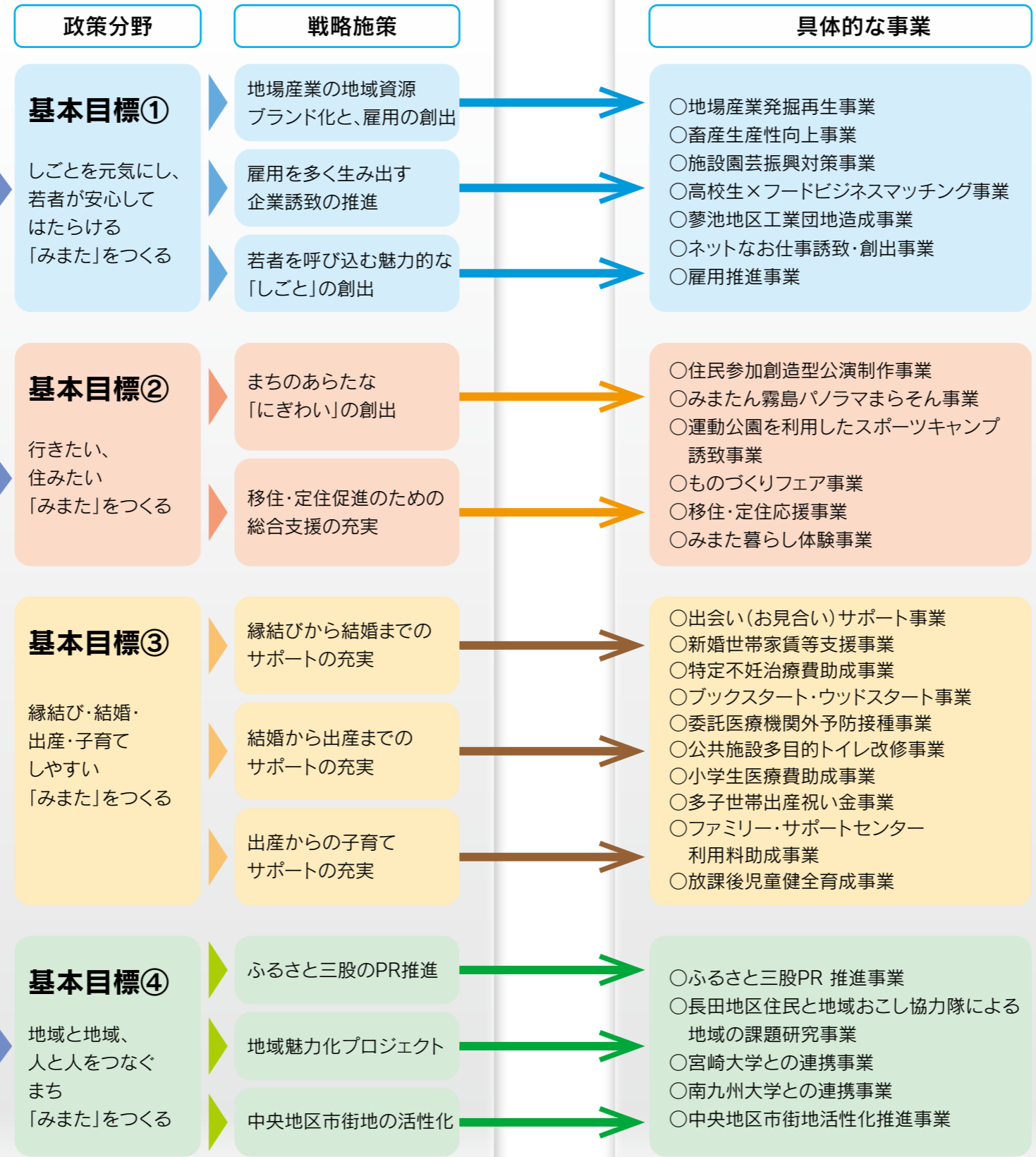
本町においては、昭和55年(1980年)以降30年間にわたって総人口は増加してきました。

社人研による今後の推計では、平成22年(2010年)の総人口をピークに国と同様、年少人口と生産年齢人口が減少し、高齢人口は増加していくことが予測されています。



社人研によれば、平成72年(2060年)の人口は18,952人と推計されています。平成22年(2010年)の人口24,800人と比較して23.5%の減少となります。

総合戦略



三股町の人口の将来展望へ

【数値目標】
(H27年(2015年)~H31年(2019年))

基本目標①
・企業立地による新規雇用者数 0人→20人
・15~29歳までの社会純減 370人→300人



基本目標②
・本町に「ずっと住み続けたい」 62% → 70%
・社会純増(転入超過) 毎年40人を維持。



基本目標③
・子育て支援 満足度 2.69→3.00 (最高評価点4.00)
・合計特殊出生率 1.84 (H52年までに2.07)



基本目標④
・物産品の販売拡大 年間商品販売額 118億円→120億円
・過疎地域(長田・梶山)の交流人口の増 交流人口 0人→200人
・中央地区人口減少率の抑制 0.5%→0.3%

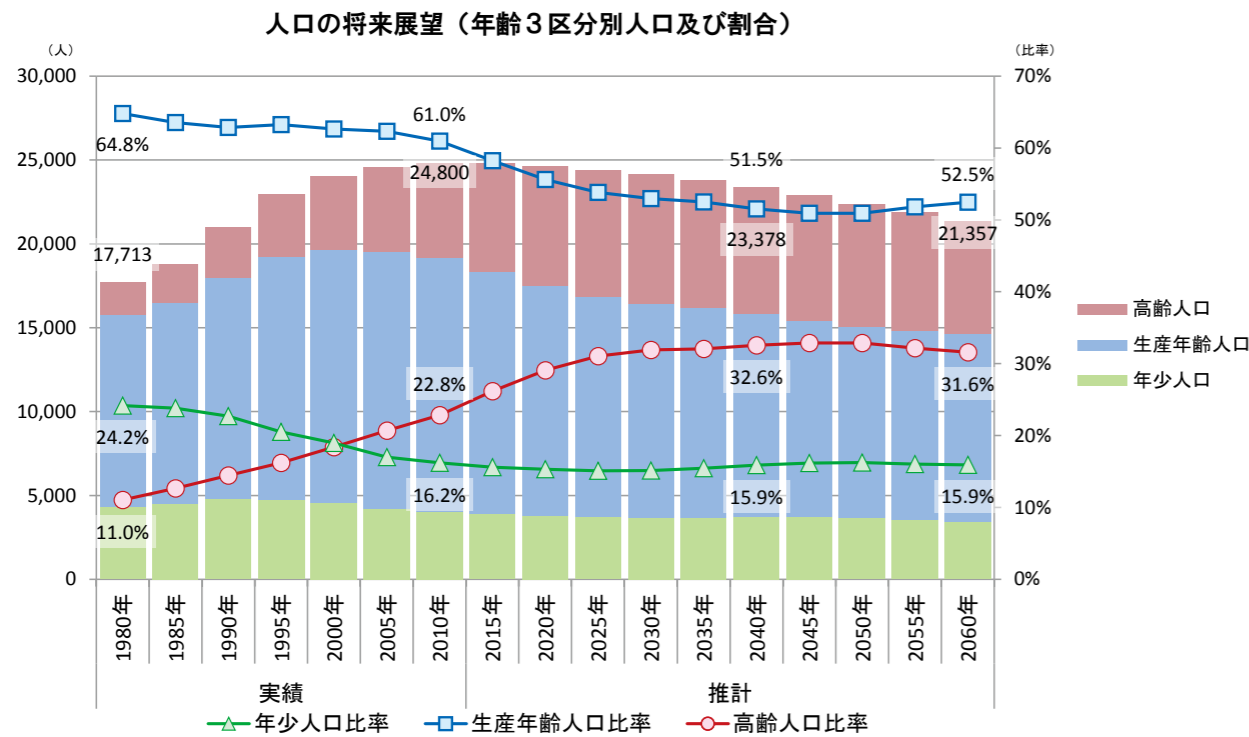


三股町の人口の将来展望

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「宮崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえながら、本町の人口に関する推計分析等、目指す取り組みの方向性等を考慮し、目標とする人口規模を展望します。

本町の基本目標に向けた様々な施策と人口減少対策の効果が十分実現すれば、若い世代の結婚の促進、出産・子育ての希望の実現などにより、合計特殊出生率が平成52年(2040年)に「2.07」へ上昇すると想定しています。

また、社会増減は続くものの、積極的な移住や定住促進施策により、平成72年(2060年)頃に社会増減(転入・転出)は、均衡する想定です。



推計を踏まえるとともに、本町では平成72年(2060年)の目標人口を「21,357人」とし、各種施策を推進します。

おわりに

本町が掲げた平成72年(2060年)の目標人口を達成するために様々な施策を実行し、人口減少による影響を最小限に食い止め、少子高齢化を緩和することにより、将来にわたり住みやすい三股町を持続していきます。

本町の恵まれた自然と資源を活かし、町民の安全・安心がしっかりと確保され、暮らしやすい環境を創っていくため、本町は「三股町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少の克服に向けた取り組みを実行していきます。

三股町 まち・ひと・しごと創生 総合戦略 「概要版」

発行年月：平成27年10月

発行：三股町

編集：三股町企画政策課 地域政策係

住所：〒889-1995

宮崎県北諸県郡三股町五本松1番地1

電話：(0986) 52-1111

F A X：(0986) 52-4944

U R L：http://www.town.mimata.lg.jp/